



碧南ロータリークラブ週報

第3072回例会 令和5年11月8日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延



世界に希望を生み出そう

● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

地区ロータリー財団委員会 副委員長 猪子恭秀様 (名古屋みなとRC)

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。本日も例会へのご出席ありがとうございます。

私事ではございますけれども、阪神タイガースが優勝ということで、若干テンションを高くご挨拶をするのかなあと感じております。

先週、メンバーの新美雅浩君たちと新しく名称が変わりましたジャパンモビリティショーへ出席してまいりました。数年ぶりということで、前よりも規模が大きく開催されました。ニュース等々で見られた方は、大盛況だなあと感じられたかと思います。当然、私共も駅を降りて会場に行く訳ですが、既に混雑しておりまして、会場に入ると、暑さと人の多さで疲れがあったかなあと感じております。各ブースも人気があるところは、見られないぐらいの人の数でございまして、開催されるのはよろしいと思いますけれども、もう少し会場制限をされて開催をした方が、見る側にとってはありがたかったなあと感じております。

当然、一泊でございまして、新美君から「会長挨拶にネタはいらないよ。感性で喋って。」



角谷信二会長

と言われましたが、ネタを入れないとなかなか長くお喋りができないですし、感性だとピーが入っちゃうようなことも言っちゃうかもしれませんので、ちょっとネタを披露させていただきたいと思います。

先ほどお話ししましたジャパンモビリティショーで、ナンバープレートのリクエストナンバーの全国ランキングの調査があったそうで、ご想像の通り3ナンバーは、1位が1、2位が8、3位が3、4位が5、5位が8888でした。5ナンバーは、1位が2525、2位が1122、3位が1、4位が8、5位が3でした。軽自動車は、1位が358、2位が2525、3位が3、4位が1、5位が8008でした。

末広がりな8にまつわるナンバーが人気のようですが、軽自動車の358がなぜ人気なのかということをお話したいと思います。風水でいきますと、3は金運、5は財運、8が最高の数字だということでございます。このナンバーは名古屋で一番人気だそうで、抽選対象になっておるということでございますので、なかなかこのナンバーはリクエストしてもらえないということがあるそうでございます。

最後でございますけれども、江戸時代の幕府の将軍で有名なところだと初代の家康、15代の慶喜の他にそこそこ有名なものが、3代の家光、5代の綱吉、8代の吉宗で、そんな語呂合わせということもあるかと思っておりますけれども、358がラッキーナンバーということで、全国的に大人気だそうでございますので、車を購入される方はとりあえず358をエントリーされたらよろしいかなあと思っております。

本日もよろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ローターレート変更のお知らせ、今月は前月同様149円でございます。
- ・ ガバナー月信11月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ 例会変更のお知らせは、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 11月12日(日)に名古屋国際会議場で地区大会が開催されます。バスで行かれます方は、9時半に商工会議所出発になりますので、それまでにお集まりいただきますよう、よろしくお願い致します。会場の方ですが、受付が10時から、本会議は11時となっております。直接会場にお越しの方は、11時までにお越しいただきますよう、よろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後、201号室におきまして第5回理事会を開催致します。役員、理事の方はお集まりください。



大竹密貴副幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 63 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 12 名) 出席者 50 名	
出席対象者 50/61 名	出席率 81.97%
欠席者 13 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 地区ロータリー財団委員会 副委員長 猪子恭秀様 11月財団月間です。本日「財団をクラブ活性化に」のテーマで卓話をさせていただきます。
- 角谷 信二君 娘が入籍しました。やれ、やれ。
- 加藤 良邦君 11月3日、毘沙門天秋大祭、天候に恵まれ多数の皆様のお陰で、無事に終える事が出来ました。深く感謝致します。
- 竹中 誠君 本日の卓話講師、地区ロータリー財団委員会 猪子副委員長様の紹介をさせていただきます。
- 新美 雅浩君 商工会議所交通運輸部会の研修会で、角谷信二部会長にお世話になりました。
- 長田 康弘君 本日、36回目の結婚記念日を迎えます。会話なき沈黙の日々が続きます。
- 牧野 勝俊君 先日の視察研修で角谷信二さんと杉浦栄次さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 鉄村 良朗君 男子バレーボールV2リーグが開幕しました。本日、試合日程のポスターを配布させていただきましたので、事務所等に貼って頂けますと、幸いです。引き続きのご声援、よろしくお願い致します。
- 鉄村 良朗君 38年ぶりにタイガースが日本一になりました。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

15日 杉浦 邦彦君 20日 森田 英治君 21日 石川 鋼勇君
27日 奥田 雪雄君 29日 竹中 誠君 (喜寿)

奥様誕生日

18日 竹内 康人君の奥様 咲江様 20日 木村 徳雄君の奥様 小百合様

結婚記念日

4日 竹内 康人君・咲江様 21年 5日 杉浦 保子君・義己様 45年
8日 新美 雅浩君・美由紀様 36年 10日 鉄村 良朗君・ゆかり様 27年
24日 榊原 靖浩君・京子様 21年 26日 角谷 圭祐君・倫子様 41年

入会記念日

4日 植松 敏樹君

クラブフォーラム

「財団をクラブ活性化に」

地区ロータリー財団委員会 副委員長 猪子恭秀様



猪子恭秀様

ただいまご紹介いただきました本年度 2760 地区ロータリー財団委員会副委員長の猪子恭秀です。名古屋みなとロータリークラブから出向しています。

11 月は、財団月間です。本日は、若手の会員の皆さまに対して、ロータリー財団をご理解いただくために卓話をさせていただきます。本日皆さまに、地区財団委員会が作成したロータリー財団のリーフレットをお配りしています。良くまとまった内容となっていますので、是非、ご一読ください。本日は、皆さまからの寄付の使われ方、地区補助金事業、ロータリーカードの活用、PHS と PPS を中心にお話しさせていただきます。

ロータリー財団は、1917 年に、当時のアーチ・クランフ会長が、「世界でよいことをする」ための基金の設置を提案して、創設されました。国際ロータリーは、皆さまからの人頭分担金で運営されています。今年度の人頭分担金は、一人あたり 75 ドル、120 万人の会員で 9000 万ドル（日本円にして、134 億 1000 万円）です。他方で、ロータリー財団の今年度の寄付目標は、年次基金寄付が、1 億 5000 万ドル（日本円にして、223 億 5000 万円）、ポリオプラス基金が、1 億 5000 万ドル、寄付合計で 5 億ドル（日本円にして 745 億円）です。ロータリー財団は、このように皆さまからの寄付のみで運営・活動しています。

次に、シェアシステムについて、説明させていただきます。3 年前の年次基金寄付の総額を 100% として、そのうちの 50% が、地区財団活動資金（DDF）となり、のこりの 50% が、国際財団活動資金（WF）となります。この 50% の地区財団活動資金（DDF）の 25% が、地区補助金に充てられ、のこりの 25% が、グローバル補助金に充てられます。

昨年度 2022-23 年度の碧南ロータリークラブ様の財団寄付額は、年次基金寄付が、お一人あたり 127.36 ドル、ポリオプラス寄付が、お一人あたり 32.25 ドル、恒久基金に 1020 ドルです。寄付全体で、1 万 596.76 ドル（日本円にして 157 万 8827 円）を、ご寄付いただきました。誠に、ありがとうございました。

昨年度 2022-23 年度の地区財団活動資金（DDF）の使われ方は、総額 43 万 5906.13 ドル（日本円にして 6495 万円）について、地区補助金に、56 クラブの申請で 13 万 4716 ドル（2007 万円）が充てられています。グローバル補助金に、合計 15 万 300 ドル（2239 万 4700 円）が充てられています。このように、地区財団活動資金（DDF）の約 3 分の 1 が、地区補助金に、約 3 分の 1 が、グローバル補助金に充てられています。

ここで、地区ロータリー財団委員会からのメッセージがございます。この間、11 月の財団月間には、財団委員がクラブを訪問して卓話をさせていただいてまいりました。それが、今年

で最後となります。来年度は、クラブの財団委員長様が、財団セミナー等でお聞きいただいた話を、クラブの皆さまにしっかりとお伝えいただく機会として、11月の財団月間を利用していただきたいと考えております。

2024年4月7日に、地区研修・協議会が行われ、2024年8月2日に、財団セミナーが行われます。2024年11月の財団月間でクラブの財団委員長さんに卓話をしていただくために、2024年10月ごろに、名古屋地区・西三河地区・豊橋地区で、それぞれ1回ずつ相談会を開催する予定です。

次に、世界のロータリー財団の支出額について、ご説明いたします。2021-22年度のロータリー財団支出は、3億3000万ドル（491億7000万円）でした。このうち、1億5000万ドルが、ポリオ根絶のために、7300万ドルがグローバル補助金事業に、2700万ドルが、地区補助金事業に支出されています。

ここからは、一番お金を使っているポリオプラスの活動について、ご説明します。ポリオの発症数の推移によれば、1988年には、全世界で35万人であったポリオ発症数が、2018年には33人にまで激減し、2023年度は、今年の10月24日までで、パキスタンで4件、アフガニスタンで6件、合計10件の発症が報告されています。また、昨年7月に、ニューヨークとロンドンで、下水からポリオウィルスが検出され、昨年8月には、ロンドンで、ワクチンのブースター接種が行われました。私たちの子供やまごたちが、今後ポリオに罹患する危険性はゼロではありません。ポリオは、一人でも感染者がいたら、新生児4億人に必ず予防接種をしなければなりません。

日本では、新生児に4回のポリオワクチンの接種が行われています。1回あたり約5000円、4回で、子供一人あたり約2万円。日本の新生児数を80万人として、年間約160億円が使われています。ポリオが根絶されれば、毎年ロータリーでポリオに使う1億5000万ドルが不要となり、日本でのポリオ不活化ワクチンに使われる160億円が不要になります。国際ロータリーは、ポリオの根絶を目指しています。

今年の10月27日には、豊田カントリークラブにおいて、ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ2023が開催されました。酒井ガバナーを始め、117名の皆さんがチャリティーに参加され、61万1000円の寄付が集まりました。ご参加くださった皆さまには、心より感謝申し上げます。次年度も、世界ポリオデーにあわせて、チャリティーゴルフコンペを行います。皆さま奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援する補助金です。地区補助金のクラブの申請可能額は、2024-25年度からは、3年前の年次基金寄付額の23.75%となっています。クラブの拠出金は、「0」でも良くなりました。ローターアクトクラブも、国際ロータリーの一員となり、補助金も利用できるようになりました。しかし、ローターアクトクラブは、3年前に寄付をしていないため、提唱クラブの「申請可能額」の一部を活用できることになりました。ローターアクトクラブと提唱クラブで、ご相談いただきたいと存じます。

2023年12月に、次年度地区補助金事業の予定に関するアンケートを実施します。クラブに申請可能額の制約について、より大きな事業を行いたいというクラブには、アンケートの

結果にもとづき、次年度補助金事業を行わないクラブの情報を提供いたします。ただし、財団委員会としては、クラブ同士のマッチングについては関与いたしませんので、各クラブにおいてご協議いただきますよう、お願いいたします。

グローバル補助金は、2か国以上のクラブ・地区が行う、7つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす、大規模な国際的活動を支援する補助金です。7つの重点分野とは、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境の7つです。グローバル補助金の申請にあたっては、クラブの理事会の承認を得た上で、地区ロータリー財団委員会に、DDF申請書を提出し、財団委員長との面談を行っていただくよう、お願いいたします。

職業研修チーム（VTT）は、グローバル補助金を活用した事業のひとつです。専門家チームを、海外に派遣して研修を行ったり、専門家チームを国内に招聘して研修を行います。職業奉仕事業であり、国際奉仕事業でもあります。今年度は、3年ぶりにVTTを行います。フィリピンのミンダナオ島、ダバオが中心の3860地区と連携して、同地区より要請のあった心臓外科手術の技術指導を行う予定です。現在、ロータリー財団の承認を待っているところです。今年の12月に、3860地区のチームメンバーが来日し、日本で研修を行う予定です。

グローバル補助金奨学生は、海外の大学院で、7つの重点分野に該当する分野を専攻する方を対象にした、返済不要の奨学金を給付するプログラムです。現在、グローバル補助金奨学生の中澤泰子さんが、アメリカのジョージア州のエモリー大学の公衆衛生大学院にて、小林美智さんが、イギリスのエセックス大学の大学院にて修士課程を学んでおられます。

ロータリー財団の活動を支える資金は、皆さまからの寄付のみによって支えられています。今年度の地区の目標は、年次基金寄付を、お一人あたり150ドル以上、ポリオプラス寄付を、お一人あたり30ドル以上です。また、ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）およびポリオプラス・ソサエティ（PPS）のクラブ会員5%の入会を推進しております。

碧南ロータリークラブ様では、ダイナースのロータリーカードを1枚お作りいただいておりますが、人頭分担金、ロータリー財団寄付、例会費等のお支払いに、ロータリーカードをご活用いただきますよう、お願いいたします。また、もう1枚のロータリーカードを、地区補助金事業専用口座からの引落としができるカードとして地区補助金事業のお支払に活用いただくことを、お願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和5年11月22日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和5年11月29日（水）

卓話「すべての組織にブランディングを」

（株）サンコー 代表取締役 櫻山貴文氏